

KŪNAN



金剛山 廣大寺 (寺院紹介は6P)

人生はむせび泣きと

すゝり泣きと

微笑から成り立っている

その中で

一番多く占めているのは

すゝり泣きである

(O・ヘンリー)

我が寺の名物料理

報恩講お斎特集

どじょう汁

峰延・蓮教寺

蓮教寺名物は何といっても夜食に出されるドジョウ汁。腕白慢の同行が法中に食して貰わんが為に十数年前より始めたそうです。ドジョウとゴボウのダシがよく効き、玉子とニラの彩りも鮮やかなところに一味をふりかけ、湯気の立ち込めるどんぶりをとうふ、ドジョウもろとも一気に口に流し込みますと、八月末の報恩講ですので全身から汗が吹き出し、その後のビール的美味しいこと！しかし、中にはチュンダに差し出されたキノコを食べるが如く口許に運ぶ僧有り、ドジョウのひげが見たくな

いばかりに初夜のお勤めを欠助する僧あり、悲喜こもこもそれぞれおもいを致しながら、ドジョウと共に報恩講シーズンの開幕です。

なっとう汁

茶志内・法王寺

お初夜で呑み過ぎた法中も、法王寺の朝食に出される納豆汁を飲めば、たちまちに元氣を取り戻し、ご満座のお経も一際高らかに響くというものです。疲れた胃と喉には最高のお味噌汁であります。またたりとした味にとうふがよく馴染み、ネギの香りが白い湯気とともにツンと食欲を刺激します。こうして記事を書きながらも、思い出してはついよだれが出、「カー

チャン、明日はなっとう汁にして！」と言ってしまいたくなるくらいです。

味の秘訣は、住職白ら汗と鼻水を垂らしながら納豆を搗るところにあるようです。そしてもうひとつ、御法義の味ってどこでしょうか。

長沼・誓報寺

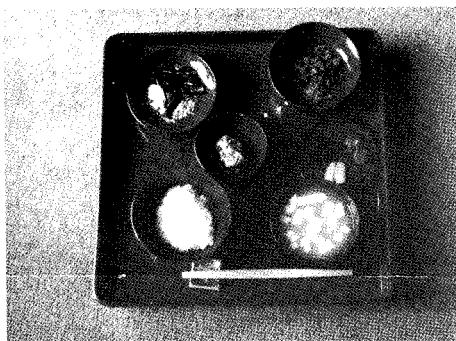
朝粥

「ササニシキ」を専用の鍋で食べる直前に出来上がるよう、専任のバアちゃんがつきつきりで炊き上げます。そのお粥におつゆと薬味をかけて食べますが、口の悪いご住職様に（いらっしやるんです）「ネコマンマ」と言われ無いよう、塗りのお膳でだすのが大切なポイントです。因みに御門主も島根県へご巡教のおり、このお膳を召し上がったそうです。

なすびのからし漬

美流渡・正滝寺

栗沢町 正滝寺 『なすびのからし漬け』（骨壺）
 ・作り方：1.なすびを1〜2日、塩漬けにします。それを乱切りにしておく。
 2.和からし又は洋からしをぬるま湯でとき、砂糖・醤油・味のもとを適量加えた後、一時間程度ふせておきます。
 3.1と2をませ、ふたつきの容器に入れ、一昼夜ねかせて出来上が



我が寺のお粥膳は、島根県の寺のものを伝授してもらい、昭和六十年より始まりました。

入院ルポ 『伝道院』

誓報寺副住職・天野広海

まわりのおだて、雰囲気は流されるまま（巷では女房にケツをたたかれて仕方無く行ったと噂されていましたが？）
ついに潜入、まぎれこんでしまいました。

五月七日、期待と不安と前日浮き世の垢落ととばかりに祇園で飲んだお酒のせいでも酔いの中六十九日間の伝道院の生活が始まったのです。

私は伝道院にまさに名医になるべく（恰好いい）、いかに病人を救うか、いかに助けるか、その研究に精を出すインタインのつもりで入ったのであります。しつかり理論武装をし、道を伝えるのはどうしたらいいのか、その方法・話のテクニク、そしてネタ探しと、これがそもそも間違いの元でした。

ここでの生活は煩惱具足の凡夫という病名をもった患者（私）が伝道院と言う病院に入院して来たことになってしまったのです。

道を伝えるという意識、つまり指導者意識を取り払われ私自身がお聴聞していく、それは取りも直さず病気を持っている患者という白覚の上に立つこと、同時にすでに与えられている道（如来よりの成仏道）であるがゆえに説明は必要がなく、ただひたすら聞法の他に生死いずべき道なきを讃嘆することが浄土真宗の伝道であると見事なカウウンターパンチをくらったのであります。

以後私（患者）に対して六十数人ものいろいろな先生方が様々な方法で治療を施して下さいましたし、全国各地の患者さんと夜を徹して語りあい情報交換をしたこと等々本当に有意義な入院生活を送った事でありませぬ。組内の退院はしたもののまだまだ本物ではありません。組内の皆様そのつもりで宜しくお願い致します。

り。

④からいのが好きな人はからしを多めに、甘いのが好きな人は、砂糖を多めにすると良い。

・正滝寺では：からし漬けの容器が、「骨壺」に似ていることから法中の間では「骨壺だせ！」とか「骨壺くれ！」と言われる事から、別名『骨壺』と言われているのである。

・法中いわく：「最初はそこからさが、頭の天辺を通りすぎる。2、3時間すると額のあたりで止まる。また2、3時間すると涙でおさまる。翌朝には鼻で止まる程、とにかくからくてうまい!!」



おくやみ

杉原テルさま（三笠市・真法寺

前坊守）九月九日午前零時四十三分、肺炎のため、市内の本間病院で死去。七十一歳。葬儀は同月十二日十時から、川原信明大安寺住職の導師により、白坊で営まれた。

法名・薫風院釈法照法尼

大正九年八月二十八日、父・杉原順忍、母・しのぶさまの長女として出生。昭和十二年、庁立若見沢高等女学校卒業、同年、雨童小学校教員となるが半年で退職。跡取り娘は勤めさすわけにはいかぬと門徒のお年寄りが学校に出向き、校長先生にかけあったという。女学校時代からの茶道に励み、裏千家の茶道教授として人々に慕われ決してえらぶること、鼻にかけることなく、厳しい日々を送られました。七十一年のご生涯は正しく婦人、坊守の範とすべきお方でございました。大変御苦労さまでした。何卒、お浄土より妙用を垂れ給わんことを念じ申し上げます。

日々雑感

「念仏」について

西願寺住職 西川宗一

ある会でのことである。代表（竜大関係）が調声して讃仏偈があった。調声の念仏が「ナモアミダブー」と聞こえた。一瞬きょんとした空気が流れた。が、「ナマンダブー」と同音されておさまった。

「ナモアミダブー」も「ナマンダブー」も意味は同じだという。だが、お経や偈文の後は短念仏、「ナマンダブー」が習慣だし、常に唱えている声も「ナマンダブー」がある。本願寺では「ナマンダブー」と念仏するよう教育してきたのではなからうか。

大谷派本山では晨朝に「百反念仏」がある。「ナマンダブー」だけが十二・三反となえられる。これが戦国時代なら百反唱えられていたことは確かである。「山科御坊事并其時代事」に「百反よりは…返もあまらず実如は御沙汰候し」とある。

もともと「ナマンダブー」は「ナカムン（南無観世音菩薩）」や「

ナムサン（南無三宝）」と同じく

南無阿弥陀仏の省略である。だから、短念仏とかいわれて、早口で唱えられてあたりまえなのである。現在はほぼそうされている。しかし、「山科御坊事并其時代事」も「本願寺作法之次第」も「百反念仏」は非常に長く引っぱったと強調されている。

恐らく、御堂の前庭を埋めている大群参と同音するのには、こうした配慮が必要だったのである。同時に、そうした配慮をしても「ナマンダブー」を同音する事が大切でもあったといえる。

考えてみると、浄土教の勤行は念仏が中心でなければならぬ。お経も偈文も念仏を莊嚴する飾りである。その念仏の形を「ナマンダブー」中心にしたのが蓮如で、それを教育する場が「百反念仏」だったのである。

「百反念仏」が本願寺派から失ってしまったのはいつからであるか。そういえば、本願寺派の「作法」の中には「ナマンダブー」は出てこない。

知っ得コーナー

新年会・婦人会の集りを

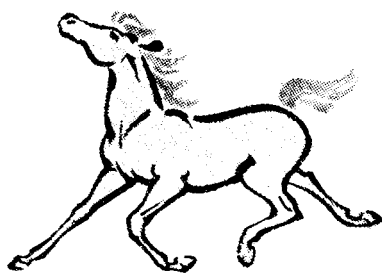
楽しくする為に

我が寺の新年会で行うゲームを紹介します。

うちわなどを利用して騎手が乗馬している馬の絵を描き、それに番号（1〜9ぐらい）とユニークな馬名をつけて貼ります。（たとえばキタムラコマチ、ハイキララ、ソウダイドダイ、オセワニナール等）そして別に1〜9までの紙を二十枚ずつ位作ります。又、何も書かないのも十枚位用意し、その全てをくじのように折り箱に入れます。会場で参加者がそれぞれ一枚ずつ引き何も書いていない人は内側に座りその外側に残りの人が座り二重の輪を作ります。そして、馬を登場させ場内を一周します。（その時司会者は馬名を強調します）その間に参加者全員に連式の子想をたてさせ紙にその番号と氏名を記入し集めます。内側に

座った人達をコースとし、スタートに馬を置き、外側の人の引いた紙の番号の馬を進ませます。（例えば3の番号を開いたら3の馬を一つ進めます）こうして内側のコースに馬を進めゴールに速く着いた馬を一着とします。（馬が進んでいる間、司会者は実況放送をおもしろおかしくします）そして一着二着をみごと予想した人に賞品をわたします。

（北村・大安寺坊守）



チヨットいい話し

★栗山・唯専寺仏教壮年会の『唯心会』が創立25周年を迎えました。9月9日本堂に於いて、記念式典祝賀会等が催されました。今後益々のご発展を念じます。

★由仁・本覚寺副住職様、この度アマチュア無線局を8月2日に開局。コールサイン・JG8PZH空南ではまだ仲間がいないので寂しがつております。興味のある方は是非始めてみてはいかがでしょう。因みに若さんのススキノ無線局はプロ級です。

★長沼・誓報寺副住職、天野広海氏長沼町教育委員に任命されました。段々遊べなくなってきました。ご活躍期待しております。

★空南会(松山宗生会長)では、去る8月1日、葬儀のしおり『無量のいのち』を発刊。大変好評を博し、本願寺新報・中外日報・文化時報等にも大々的に取り上げられ地元教区は元より、全教区から問い合わせが殺到。既に九千部を突破し一万部に到る勢いです。未購入の方は是非とも購入して下さい。

お念仏を支えに

一 本向寺・常光寺慶讃法要厳修(本向寺)開教一〇〇年・寺号公称90周年記念慶讃法要が9月1日厳修されました。

式典では、この法要を記念して作られた『本向寺百年ばやし』が披露され歌と踊りと喜びのお念仏が堂内に響き渡りました。

〔常光寺〕10月7日、好天に恵まれた中、開教70周年・寺基移転落成慶讃法要が厳修されました。午前10時半、花火の合図と共に五百メートル離れた生活会館より庭儀が行われ、門信徒のお稚児さん多数が法要に華を添えました。尚、寺地に因み『臥牛山』と新しく山号が付けられました。



空南会30周年記念講演会

日時 1991年7月9日(火)
午後1時より4時まで
会場 岩見沢市 市民会館大ホール
参加費 1人 1,800円
講師 玉川良一師(コメンティアン)。
『念仏に生きた我が母。(仮題)』山田博道師(小樽別院輪番) 講題 未定
募集人員 1,100名

日校研修会

日時 11月21日、AM11時より
場所 上砂川町・証法寺
講師 桐木 真英師(後志組・本念寺副住職)
内容 ゲーム・遊びをとおして情操教育を考ふる
実際にやってみて、ルール、ままりを体感する。日校に限らず、各種団体等の行事でも活用できます。楽しい集いです。あなたも是非参加してみませんか。

僧侶研修会

とき 12月3日月~4日(火)3時より
ところ 登別・滝の家
講師 杉田英明師(常光寺)
講題 『靖国問題。』
会費 12,000円
※翌日は、登別マリン・パークを見学します。

Bマロツク総代研修会

とき 11月19日月~20日(火)
場所 奈井江温泉
テーマ 『自ら聞法に励む総代になろう。』
講師 頓宮瑞現師(十勝組・誓願寺)
講題 『生命科学について。』
勤式 高橋宗瑛師(空知南組 本覚寺)
参加費 1人1万円
対象 各寺総代(一ヶ寺 3名以内)

君も仏青連研に参加しないか?

基推委青少年部では、中・高生・青年を対象として、カリキュラムに基づいた連研を開催してあります。幅広い友人づくりを中心とした、どなたでも参加できる内容になっています。是非、参加奨励をお願い致します。詳しくは青少年部まで。(次回は11月の予定です)

今回の
新しがりやさん

報恩講で檀家の方々に本山で製作されたビデオを見せてあげたい。でもうちの寺のテレビは画面が小さくて大勢の人に見せるのは不都合である。そんな時に力を発揮する機械がこのたび登場いたしました。



その機械は「ポータブル・プロジェクターTH-01」と言い、重さはわずか2・7キロで、高さ12・7寸、幅20寸、奥行き19・4寸で持ち運び自由な軽薄短小な時代にピッタリな代物です。操作もいたって簡単で、まず好きな場所

にこの機械を置き、ビデオに本体を接続し本堂(広間)を暗くして、その向こうにスクリーンをヒョイと掛けるだけ。部屋の白い部分に映してもOK、スクリーンとの距離を1・9寸取ると50型のサイズに拡大されます。スピーカーも内蔵されていますので間近で楽しめます。値段は十万円、そうご電気等では値引有、ご活用下さい。

寺院紹介

- 開基……明治25年8月現在地に説教所開設
- 寺号公称……明治36年12月3日付認可
- 歴代住職……開基・佐々木忠忍二世・恵昭
- 沿革……明治37年5月仮本堂建立、同45年7月九条武了夫人ご巡教、大正2年9月庫裏新築・鐘楼堂建立、同9年9月本堂建立、昭和8年10月納骨堂建立、同30年8月庫裏再建
- 48年7月納骨堂再建、同62年本堂・庫裏全面改修、同63年10月

札幌広大寺本堂・庫裏落成入仏慶讃法要厳修、平成元年4月札幌広大寺寺号公称認可
取材メモ

現在住職は、市の教育委員会委員長、仏教会々長、防火管理者協議会々長、親と子と手をつなぐ会々長など、幅広く活躍しております。町の味覚として「おばさんの家」の昔風ラーメンが最高。観光では神威岳国際スキー場、倉本聡氏脚本の『昨日悲別で』の舞台になった「ロマン座」が若者に人気があり、種々のフェスティバルが催されている。



(札幌・広大寺)



組報第8号が発刊され、夏が過ぎ、秋が過ぎ、初冬を迎えて第9号の発刊となりました。組報発刊担当広報部々員となって今更ながら時の迅速なることを思い知らされております。初めて受け取る側から刊行する側に立って、紙面の区割りに、返事の収集に、あるいは印刷にと走り回るスタッフのバイタリティーにただおどろくばかり、誠に頼もしい限りであります。あわただしい中にホッと一息そして振り返らせてくれるものが組報であつたらと思えます。

(K・H)

一九九〇年十一月一日号

編集 空知南組

基推委広報部

発行所

空知南組々長事務所